



革命政府広報室 2023夏

# 男根のエスノグラフィ

—マラコヴィアの性と排泄—

成人向け  
**R18**  
ADULT ONLY  
18歳未満  
購入を禁じます

## マラコヴィア諸島

ニュージールランド島の東北東約1200kmの南太平洋上に位置する大小数十の島々からなる諸島国である。世界初の気象衛星タイロス1号により1960年に再発見されるまでの間、複雑な海流と気流によって数百年にわたり周辺地域から断絶していたため、現在でも原始的かつ独自の文化風習を色濃く残しており、国民の90%が近代文明を拒絶している。

マラコヴィア人の文化にはアポリジニ、ポリネシア、バヌアツ遠くはパプアニューギニアなどの地域からの文化的影響も見られることから過去に周辺地域との交流を持っていたことは伺えるものの、Y遺伝子ハプログループ分類では固有のSタイプでありその人種の起源についてははっきりしていない。

私はマラコヴィア最大の島であるジラ島の内陸部へと向かっている。



マラコヴィア人の特異な性一特にこれまで先立つ研究のない「性的追放者」の生活について参与観察を中心とした長期の調査を行い、その民族誌を作成するためである。



はあ  
はあ

私(28)  
大学研究員

幸いにも私はジラ島上陸すぐに現地協力者を見つけたことができた。



He He...

※彼女の名はモコ

「通過儀礼」から逃避し性的追放を受けたという両性具有者である。

※マラコヴィアにはふたなりを表す三人称が存在するが、翻訳不能なため便宜上「彼女」と呼称する。

彼女がジャングルでひとり暮らす小屋で私はフィールドワークを始めることにした。



このままいけば順調に調査を進めることができそうだ。

私がモコと出会ったのは  
全マラコヴィアで  
唯一の市街である  
ジラ島の空港前大通りを  
ガイドのあてを探して  
歩いていた時のことだった

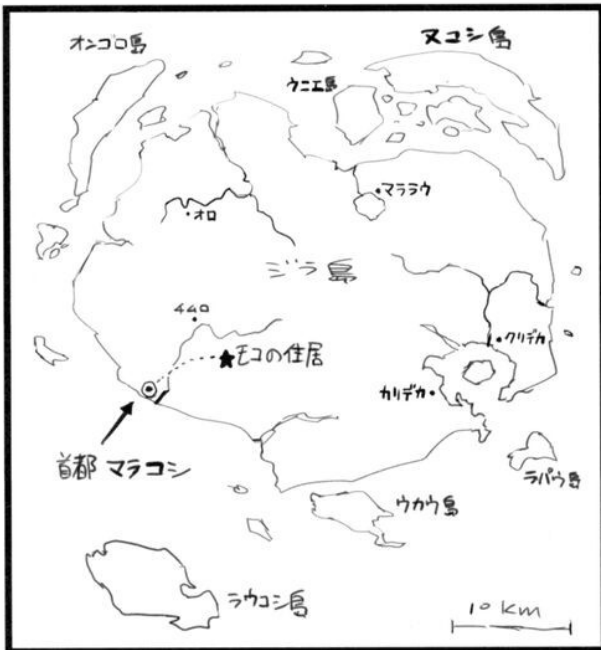


マラコヴィア国外から  
あらかじめガイドを探す  
ことは不可能だったので  
ジラ島到着後に現地  
交渉するほかなかったのだ

全裸の彼女は昼日中の  
ストリートの中央で  
大きく股を割って立ち  
その股間にぶら下がる  
巨大な陰囊を振り子の  
ように回転させながら  
60cmは優に超えるで  
あろう勃起した陰茎を  
天高く抜き上げていた

後にこれは  
共同体を開放された  
者におけるごく一般的  
性的配偶者の誘引・選別  
行動というべき  
ものだったと知るが  
この時はただただ困惑と  
羞恥を覚えるのみだったと  
認めざるを得ない。





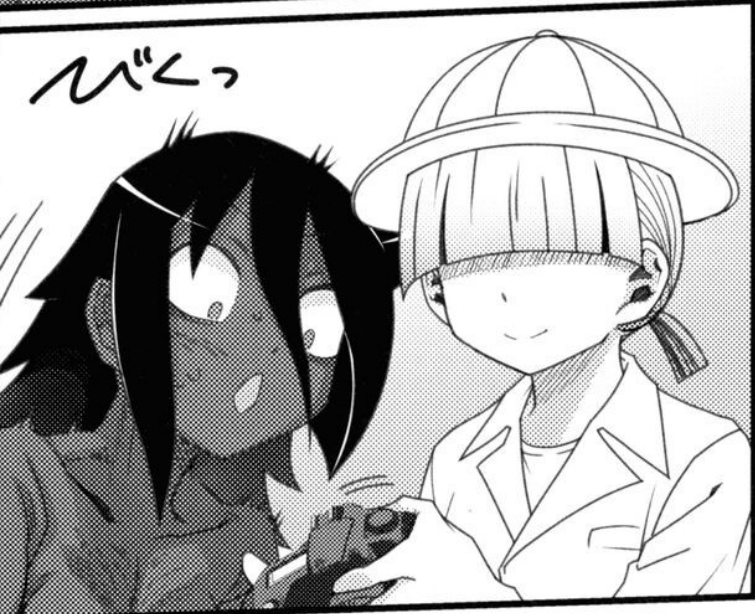
モコの住居は海沿いの首都マラコシ(といっても小さな町だ)から、内陸に10kmほど移動した密林の中にあった。近隣のどの集落からも一定の距離をおいた追放者の独居である。



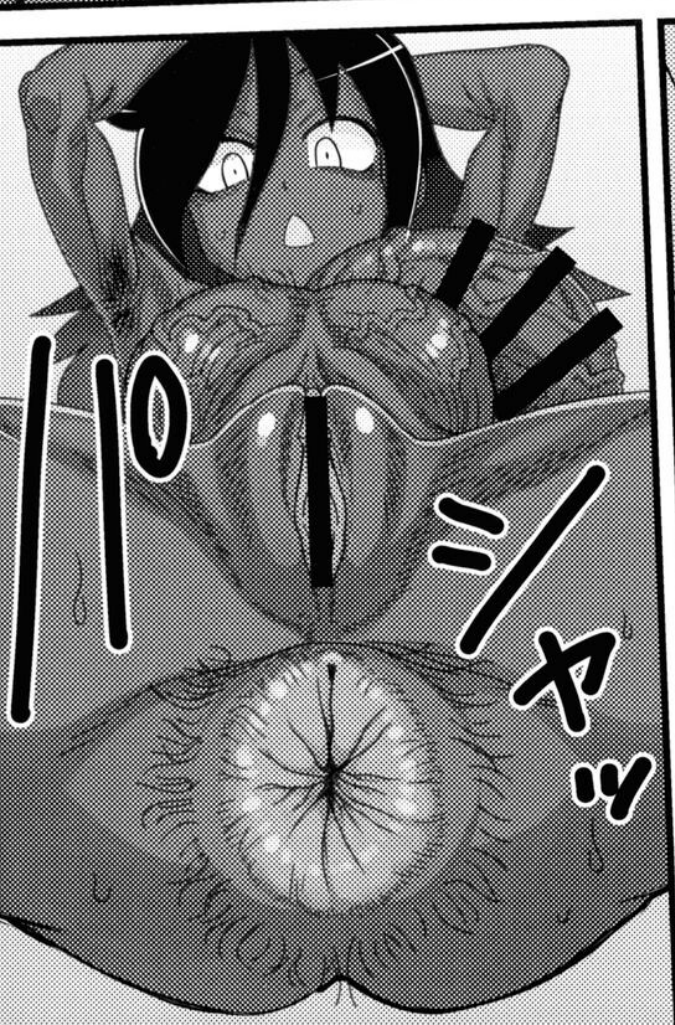
「私の手淫小屋によるこそ」  
 そういってモコは私を小屋へ迎え入れてくれた。確かに小屋には熱帯雨林のむせ返るような匂いに負けないほどの圧を持った精液臭が立ち込めていた。60日間のフィールドワークはこの小屋の隣にテントを建てて行うことにする。



翌朝、用を足して戻ると何故かテントの支柱が折られ破壊されていた。モコがやったのだろうか？仕方なしに今後はモコの小屋に間借りして調査を続行することになった。



朝の水汲みの光景



モコの突然の要求に  
 狼狽したもの  
 冷静になって考えれば  
 マラクヴィア人としては  
 自分の肛門の姿かたちを  
 知りたいという欲求は  
 ごく常識的な関心と  
 言えるものだったので  
 私は快諾してみせた。

小一時間ほどかけ  
 カメラの概念を  
 大まかに理解したモコが  
 最初に頼んできたことは  
 自分の肛門を撮って見せて  
 欲しいというものだった。



モコ(推定14歳)

性別：ふたなり(真性半陰陽)

マラコヴィア/モタワ族出身

身長/143cm 体重/65kg

睾丸重量/12kg 男根全長/763mm

平均射精量/3.5<sup>㍓</sup> 一日平均射精回数/18回

マラコヴィア人は一様に肥大化した  
性器を有するが、モコのそれはマラコ  
ヴィアでも格別な大きさと言えた。  
体毛の濃さや筋肉質な肉体はふたな  
りの中でも男性ホルモンの分泌量が多  
いことを示している。  
一日の射精回数も多く自慰の合間に  
生活をしているといった様子であった。



また、男根に並ぶマラコヴィア人の特筆すべき身体的特徴といえは、やはりその肛門であろう。極限まで肥大化した括約筋と肛門は、マラコヴィア人を初めて見た時に尻たぶが3つあるのではないかと誤認したほどだった。その見た目に反さず、マラコヴィア人の肛門は驚異的な排出圧を持つことが今回のモコへの身体測定で判明した。それが後述する大量排泄を可能とするのである。

医療用バルーンで肛門圧測定をするモコ

肛門(閉口時)／長径16cm 短径12cm

肛門(開口時)／長径22cm 短径20cm

肛門排出圧／2800ml

(非マラコヴィア人平均の約93倍)

膣口(長さ)／72mm

大陰唇(長さ)／182mm

小陰唇(長さ)／90mm

小陰唇(幅)／48mm

クリトリス(長さ)／58mm

クリトリス(幅)／19mm

備考／処女膜無し

性交によるものではないと思われる

インドネシアのバジャウ族は1000年以上もの日常的な潜水によってDNAが海中での活動により特化して変異し、水深70mに15分間素潜りしていられる驚異的な肉体を獲得している。

民族全体が水中生活に遺伝的に特化した体へと進化しているのだ。

同様にマラコヴィア人においても数百〜数千年以上に渡る異性同性問わない過剰なまでのセックスと排泄行為によって、肉体が長時間の激しい性行为、および大量の脱糞活動に遺伝適応した体へと進化しているものと思われる。

つまりマラコヴィア人のこの強靱でアスリート然とした肉体は、数百世代にもわたりセックスと排泄によって研磨され続けた天然の彫刻のような肉体なのである。

マラコヴィア人は人類で最も性交と脱糞に進化した民族なのだ。

さらには、マラコヴィア人が主食として常食し、諸島内であればほぼどこでも入手でき、調理の必要なく食用できる、固有種の果実「マデラ」もまた、この進化に大きく関わっていると指摘できるだろう。

マデラとはマデラ目  
(オモダカ目とする説も  
ある)マデラ科マデラ属  
のマラクヴィア固有種  
の熱帯植物である。



Madera maracoviacenses Ito

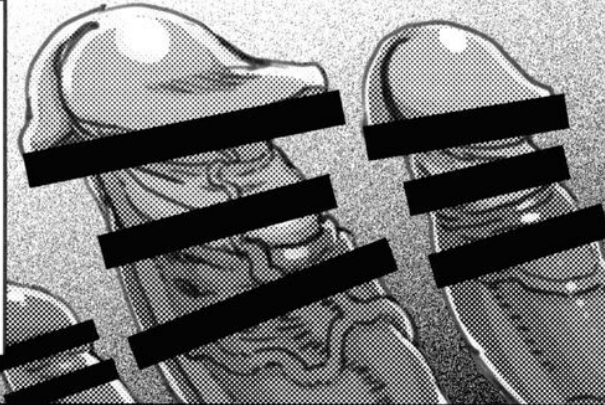
Maderales, Maderaceae,  
Maderaus,

一見して短いバナナのよ  
うなその果実は、マンゴー  
の甘味、柑橘類の酸味、バナ  
ナの食感を兼ね備えた非常  
に美味なものであり、マラク  
ヴィア人はほぼ例外なく、  
これを主食としている。



Madera Fruits

また、この実の成分には  
強い強壯作用があり、  
さらには成長ホルモンの  
分泌を促すことで生殖器の  
成長を著しく促進させ、  
マデラを多く摂取する  
ほどにこの効果は高まる。



すなわち集落の畑や集  
団狩猟の恩恵に与れない  
追放者ほど、マデラの摂取  
量が相対的に多く、かつ  
暇を持て余して自慰に  
耽る時間も増大するため、  
局部肥大の傾向が強まる。  
モコは典型的な追放者  
型の男性器及び肛門肥大  
であろう。

さらには多世代に渡るマデ  
ラの常食によってマラクヴィ  
ア人の腸内環境は遺伝的にも  
大幅に変異しており、特殊な  
酵素の作用によって類例を見  
ない特殊な能力を得ている。  
大便が食用可能となり、栄養  
の再摂取が可能となっている  
のである。

高地環境下に生息するある  
種のマキウサギは糞食によっ  
て栄養の再摂取を行うが、栄  
養の豊富な熱帯環境下でこの  
ような機能を人類が獲得した  
理由は現在のところ不明であ  
り、さらなる研究が待たれる  
ところである。

いづれにせよ、この特殊能力  
によって、マラクヴィア人は  
排泄物に忌避感を持たず、そ  
れどころか食料、性的嗜好品  
として日常的に愛好し、さら  
には物々交換の代用品として  
原始的な貨幣のように用いさ  
えるのである。



すーすー

概ね順調だが  
一つだけ困った  
ことがある。



モコの小屋で  
暮らし始めて  
三日が経った。



だから僕は床に寝袋で  
寝るからベッドは  
モコが独りで……  
\*マラコグア語

観察対象との  
距離が近く  
なりすぎるのは  
良いことではない。

……



ポリ  
ポリ



なにその  
カオミ、

しかし下手に断ると  
今後の協力関係に  
悪影響が出る可能性  
もある。私は判断を  
迫られ、悩んだ。



朝勃ち  
してる…

モコが私を  
抱き枕に  
するのである。

ひん

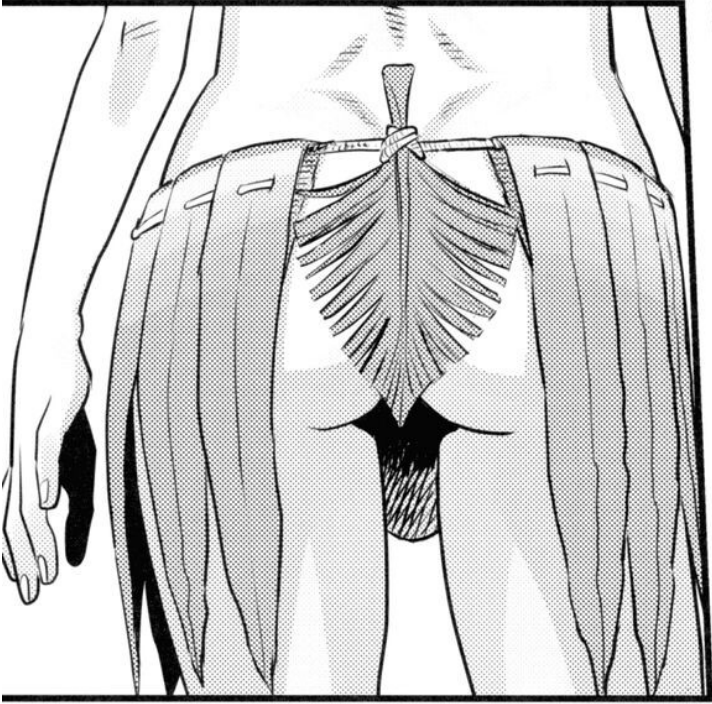
ひん

もご

おじさん(28)に  
なんぞヤッコ  
ヤセのんだ...

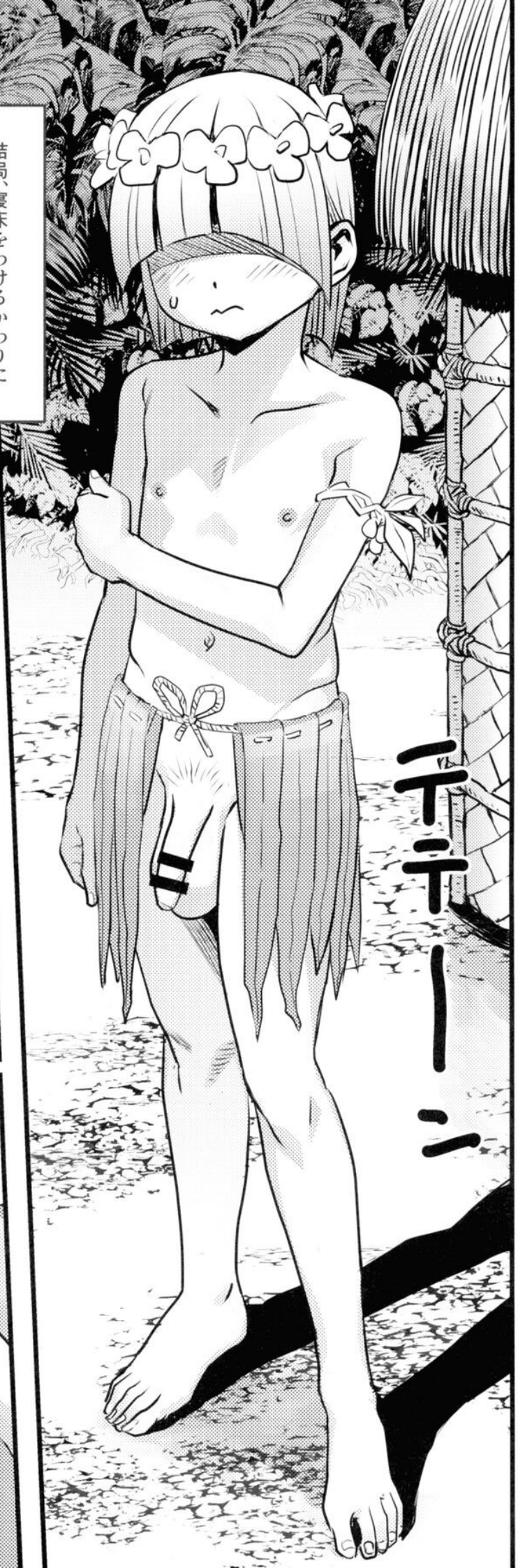
この程度の条件であれば  
フィールドワークの  
妨げにはならないだろう

結局、寝床をわけるかわりに  
数日に一度 私がマラコ  
ヴィア人の姿をして過ごす  
ということになった。



ゴクリ....

ムク...



ニ  
ニ  
ニ

はあ〜めっちゃエロい  
朝のセンズリ捗るわ〜

ハアハア

性的追放者には、より強い  
快楽を生み出そうと先鋭的な  
自慰にはまる者が多い。  
他者との性的交流が途絶え  
てしまうことにより、独力で  
工夫をこらすことしかできな  
くなるからである。

ぐじ..

頼んだらチンポしゃぶって  
くれないかな……いや無理か

もっとマデラ  
食わせないと

その点において  
モコの自慰はまだ  
そこまでの先鋭性  
を見せてはいない。


これは追放から  
まだそれほど期間が  
経っていないことと  
無関係ではないだろう。

う〜…なんでもいいから  
チンポ突っ込みて〜…


ぎゅっ



その日の朝の  
モコのオナニーは  
5回の雄叫びの後  
幕を下ろした。

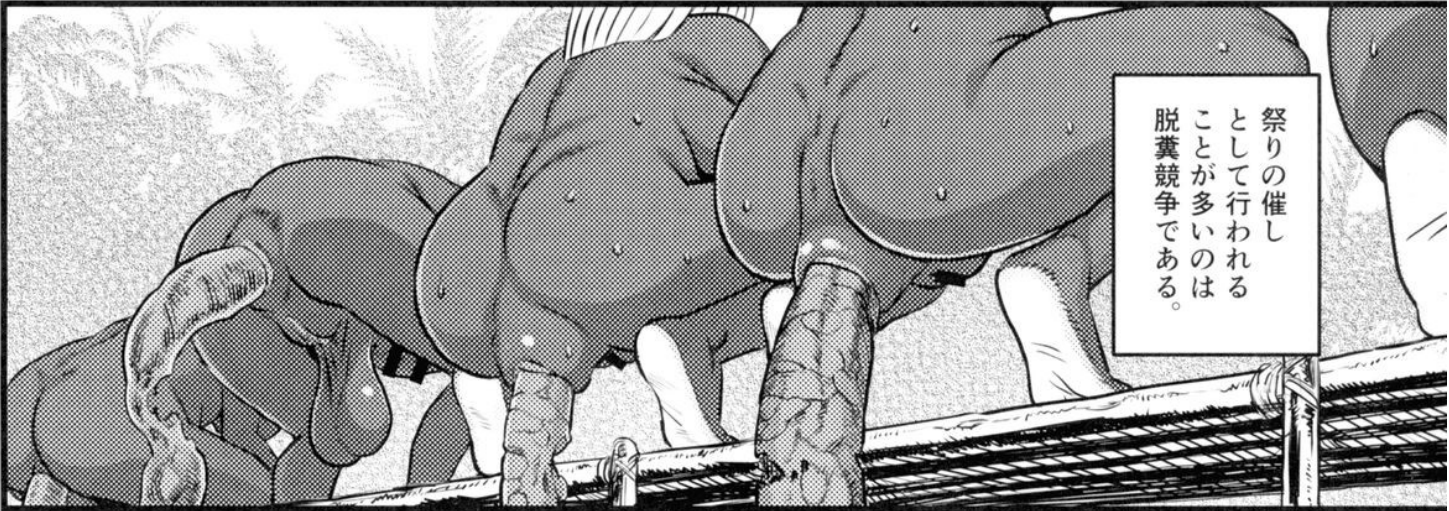


マラコヴィア人の  
排泄について




先述したが  
マラコヴィア人は  
(自分たちのもの限定だが)  
便に忌避感を抱かない  
希少な民族である。

それゆえ排便は  
娯楽性を伴い、  
時には祭事化する  
ことさえもある。



祭りの催し  
として行われる  
ことが多いのは  
脱糞競争である。



排泄量を競うもの  
便の長さを競うもの。

どれだけ長時間  
脱糞し続けられるか  
を競うもの等々…。

さながら  
脱糞オリンピック  
の様相である。

モコの脱糞も一昨年  
ワールドワークした  
それらの村々にひけを  
取らないほどのもの  
であった。

もし森でモコの糞と  
遭遇したならば、体重  
500kgのヒグマの  
ものと誤認する可能性  
すらあるだろう。

うんこが見たい？  
いいぞ♥

むく...

モコの小柄な体のどこに  
これほどの量の大便が  
詰まっていたのかと  
思うほどである

ゆさ、ゆさ、



どしん

んんん

フムフム

すん、すん

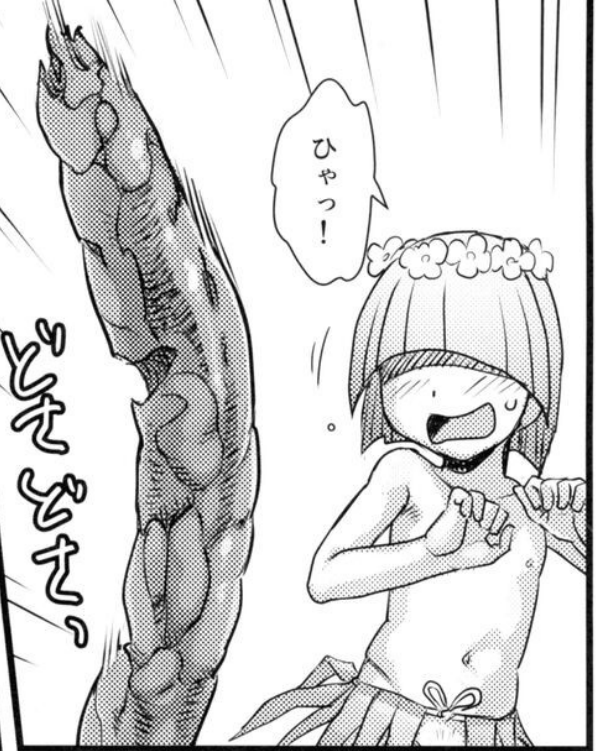
脱糞競争に使用する器具に  
 “脱糞柱”がある。高さ数十メートルから数メートル、直径25センチ程度の二本の柱が、幅40〜50センチ間隔で建てられているもので、マラコヴィアの集落には、たいてい複数組存在する。

※モコの脱糞柱は独りで建てるには困難な大きさであったが、後に古い集落跡に住居を構えたのだとの証言が得られた





見てるよ~もっといっぱい出してやるから♡

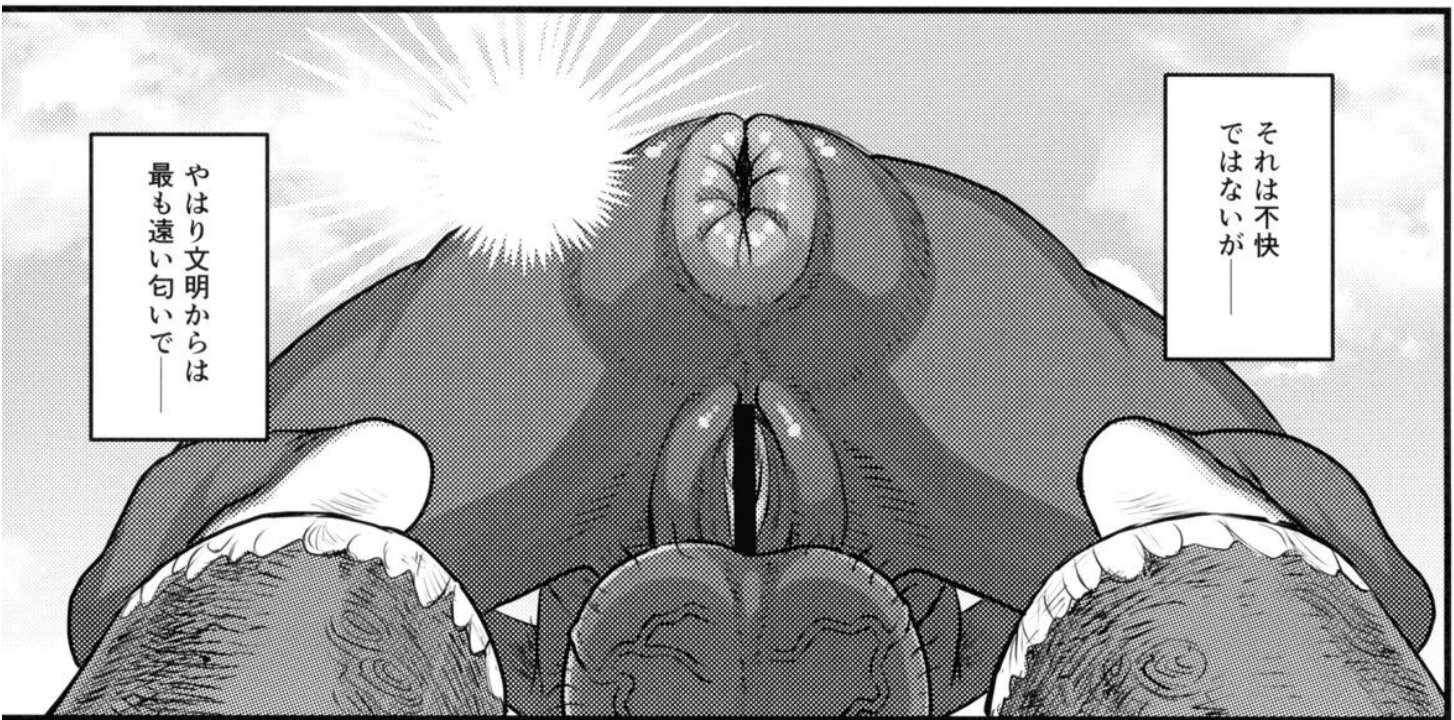
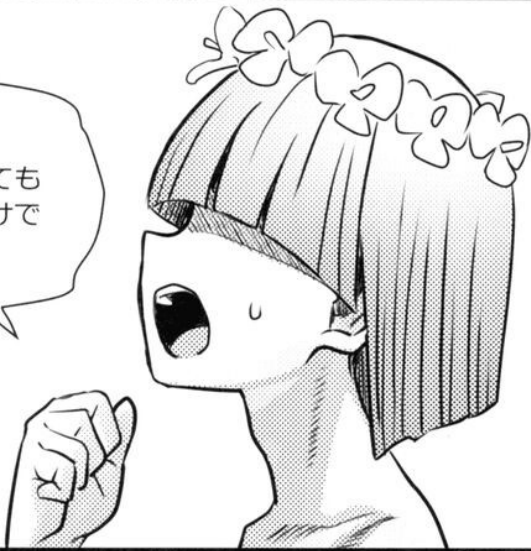


ひゃっ!

どぞぞぞ

マデラを常食する人間特有の、柑橘類のような甘酸っぱさと蒸れた密林の陰花の香りを合わせたような便臭

ちょ、ちょっとモコ  
そんなにはりきらなくても普通にを見せてくれるだけでいいんだよ!



やはり文明からは最も遠い匂いで

それは不快ではないが

うわっちょっ  
まってまってカメラ

みちっ

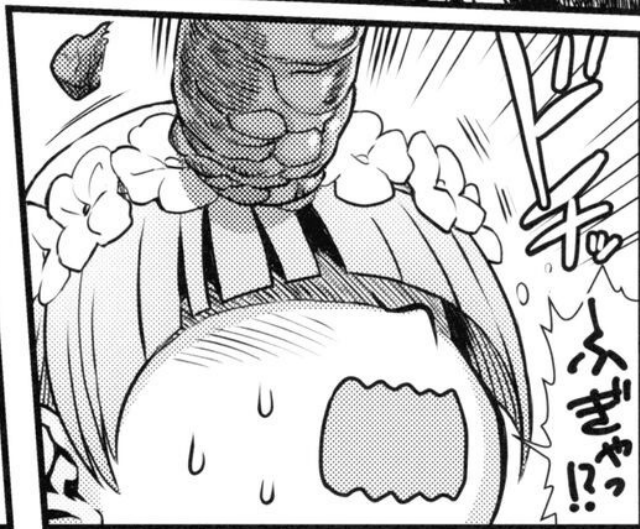
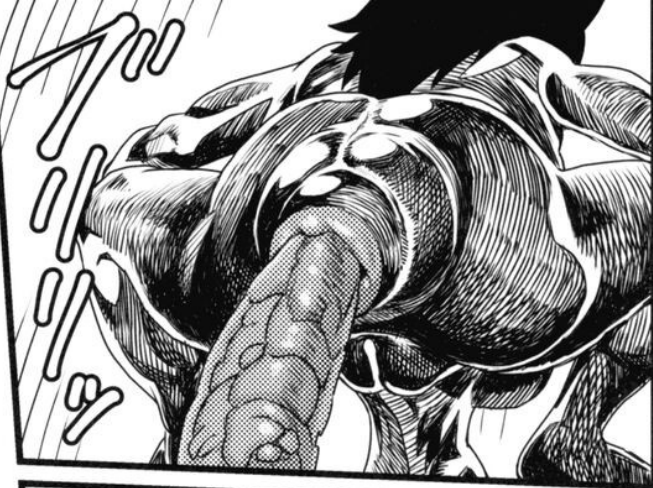
みちっ

みちっ

た〜っぷり！  
出してやるからな♥

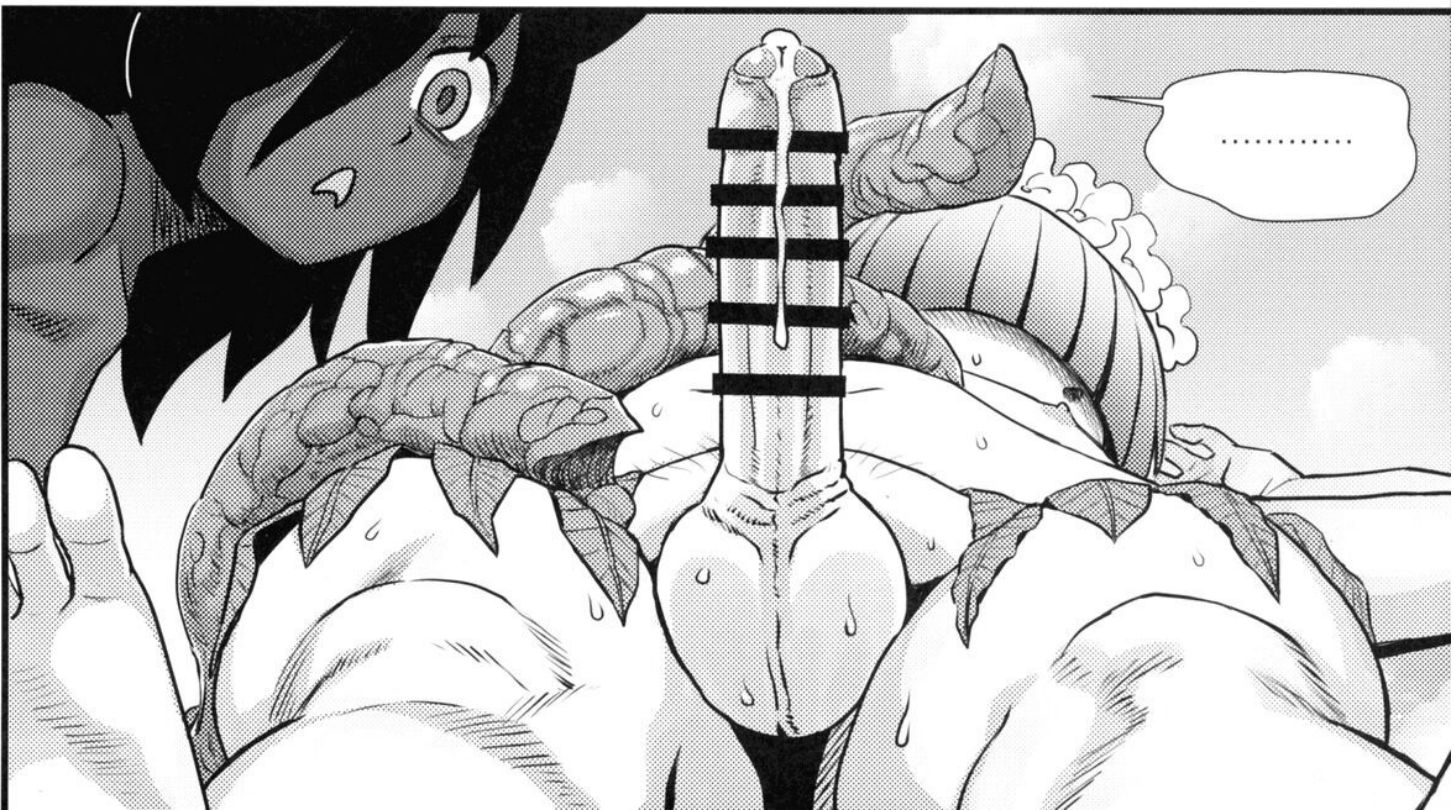
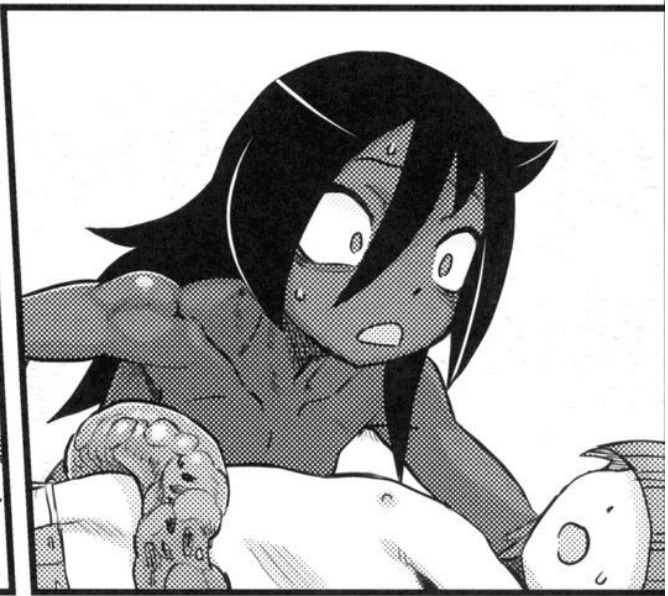
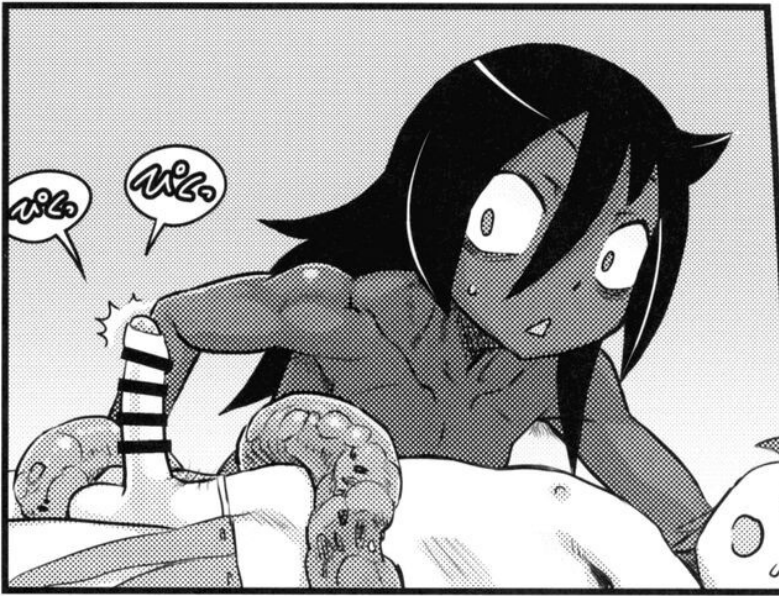
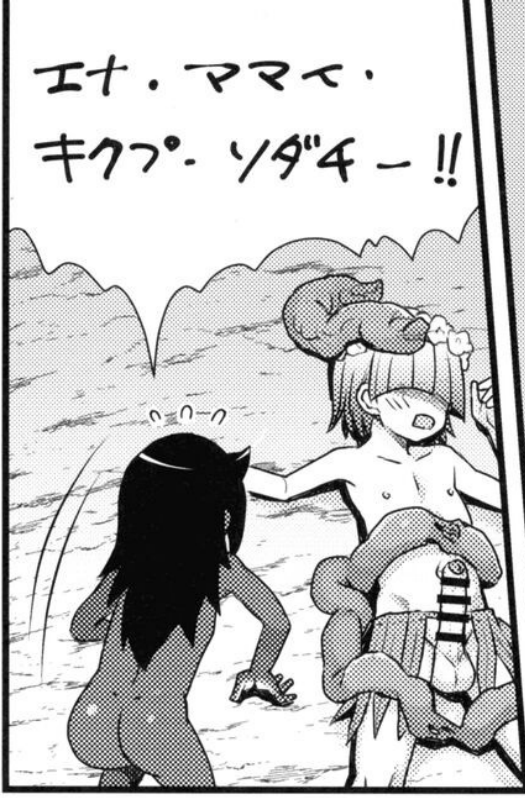
よ〜く見とけよ♥  
わたしの本気脱糞♥

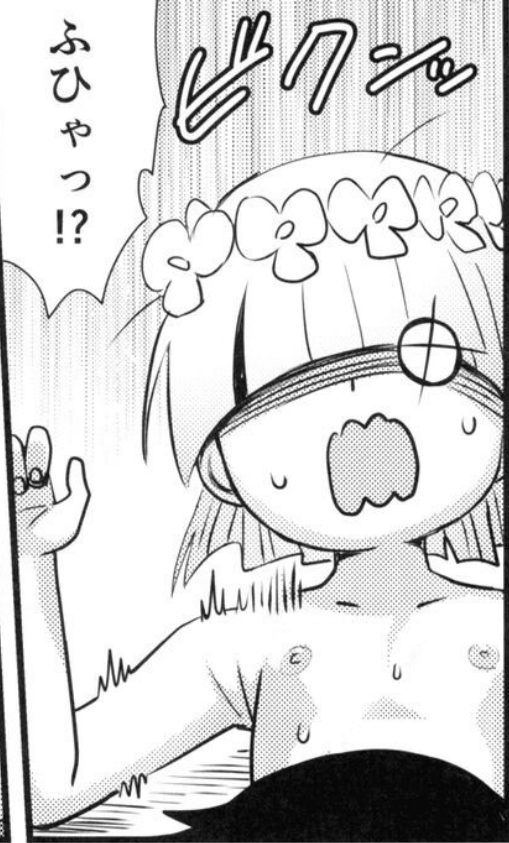




エト・ママス・  
キクワ・ソダ4ー!!

※私の名前は柚木育(そだち)







やっぱり私たちと  
少し味が違うし  
薄いんだな



でもだいじょうぶ  
気にするな

マデラ食って  
私のうんこもモリモリ食って  
はやく立派なマラコヴィア人になろうな

^^^...  
しんぱいするな

まだまだいくらでも  
うんこひり出せるぞ

ぐんぐん♡

むりむり♡



ちよっ…ちよっ  
そっちはまだ  
心の準備が……

で“きんは”  
最後まで……



あああ〜っ！

モコの大便秘が口内に  
押し込まれた瞬間に  
舌に広がった味は  
僅かな甘味と酸味を備え  
意外にも不快なもの  
ではなかった。

あ  
ん

あ  
ん

む  
ちっ♡

マデラの常食によって  
マラコヴィア人の大便秘が  
食用可能になっている  
という知識は持っていたが  
味すら食用に適するものに  
変化しているとは  
完全に想定外であった。

む  
ちっ

ち  
ん

ほら うんこの中  
おもいっきり突っ込んで  
チンポでかき混ぜる♡



ちんぽ♡

ちんぽ♡

おあ♡

私のうんこが  
おまえのチンポを  
立派なマラコヴィアの  
オスにしてやるからな♡

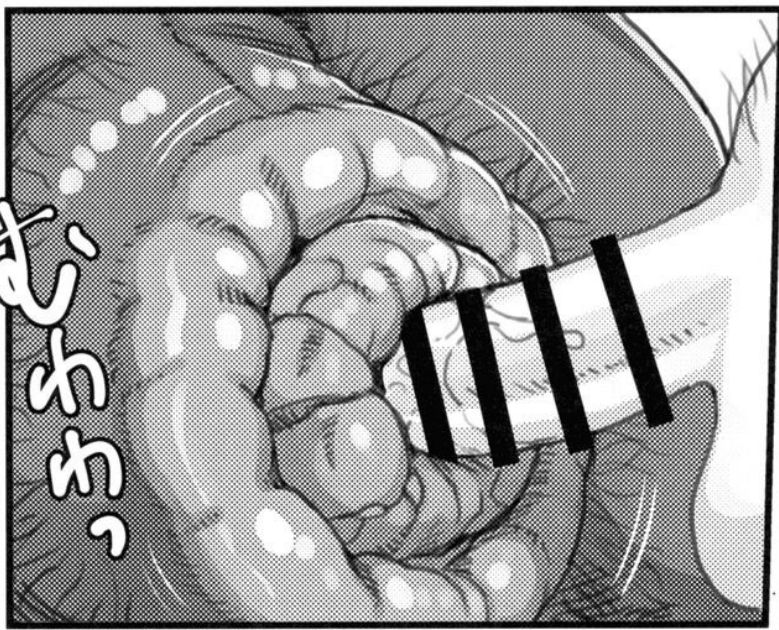
ちんぽ

んん♡



ほらほら早く♡  
私のうんこがお待ちかねだぞ♡

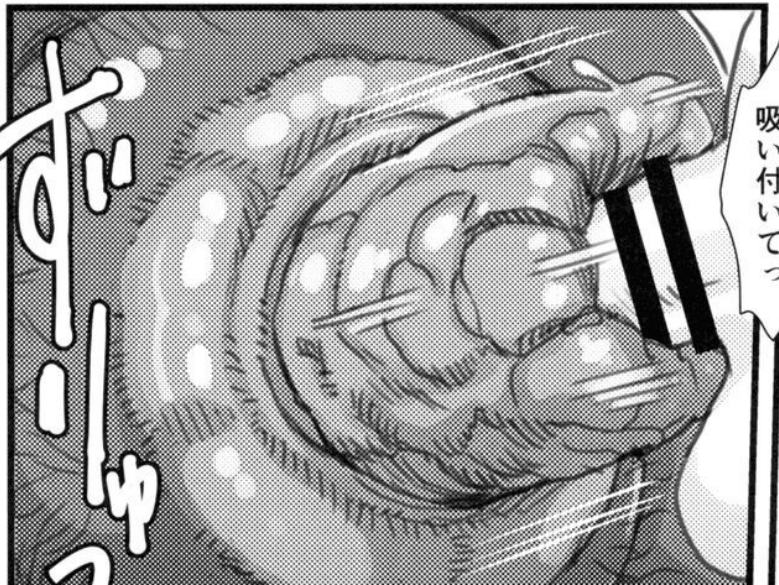
な...なんで身体が  
こんなに火照って...



ぐわっ、ぐわっ



ぬびん



びん



うんこが...  
吸い付いてっ

ふわあっ!?

びん

びん



モコっうんこ  
止めてっ♡

びび、びび

こんなのおかしいっ！  
こんなセックスっ  
文明人やめさせられちゃうっ！！

すっ  
ぽっ♡

すっ  
ぽっ♡

いいぞソダチ♡  
そのまま  
うんこのまんこに  
中出ししちゃえ！♡

ちんちんが尊厳  
捨てちゃうっ！！♡♡



うんこっ♡  
うんこ気持ち  
いいっ！

人間  
おわっちゃうっ♡

びびっ♡  
びびっ♡  
びびっ♡



むっ  
むっ

すっ  
ぽっ





うんこで童貞  
喪失しちゃった…

しっし

大丈夫か？

さしもの私もこれには  
自己嫌悪に襲われたが  
マラコヴィア式の手荒い  
洗札と思いい気持ち  
切り替えることにした。



そして  
3日後の朝



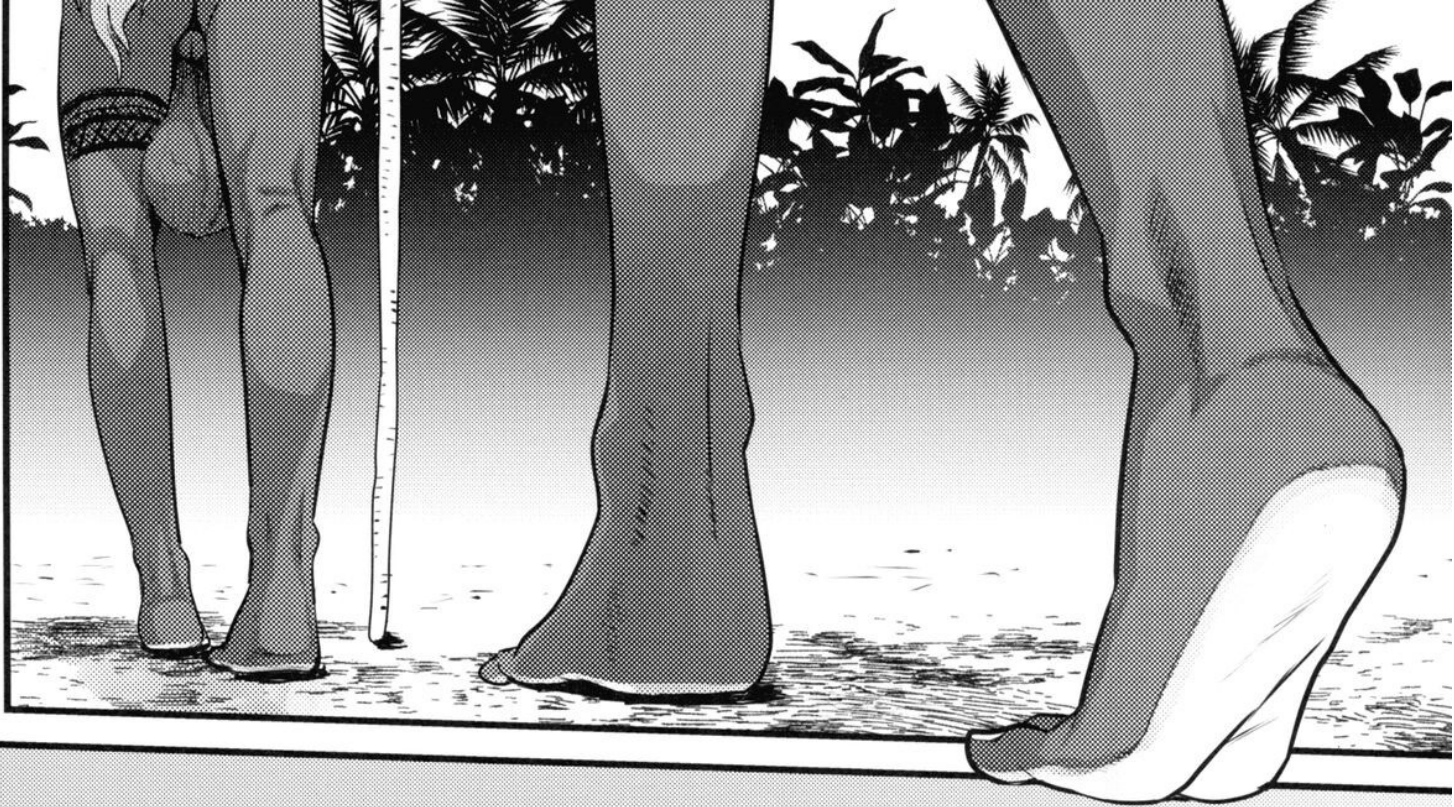
た…たしかこっち  
集落の跡地…

がさ がさ



なんだか下半身が  
大きくなってきたような…

びりっ♡



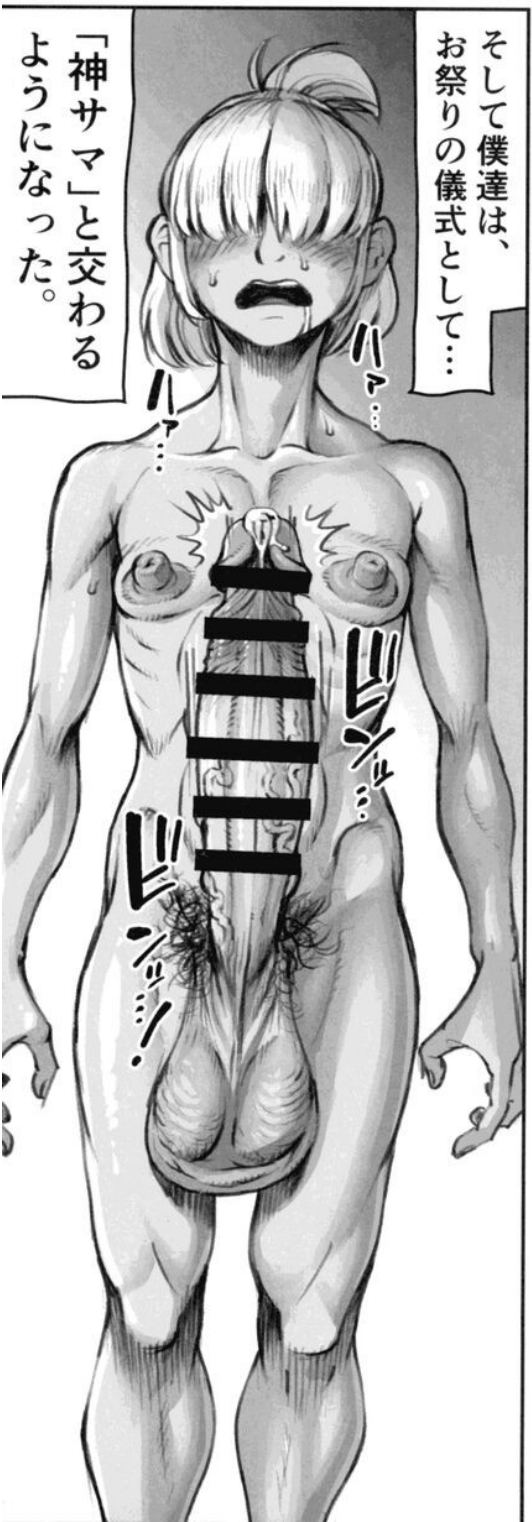
じゃ…じゃあ  
挨拶しないとね  
ショーコちゃん

む…無人で聞いてたけど  
どうやら先客が  
いるみたいだな…？  
どうする？コウメちゃん

To Be Continued?

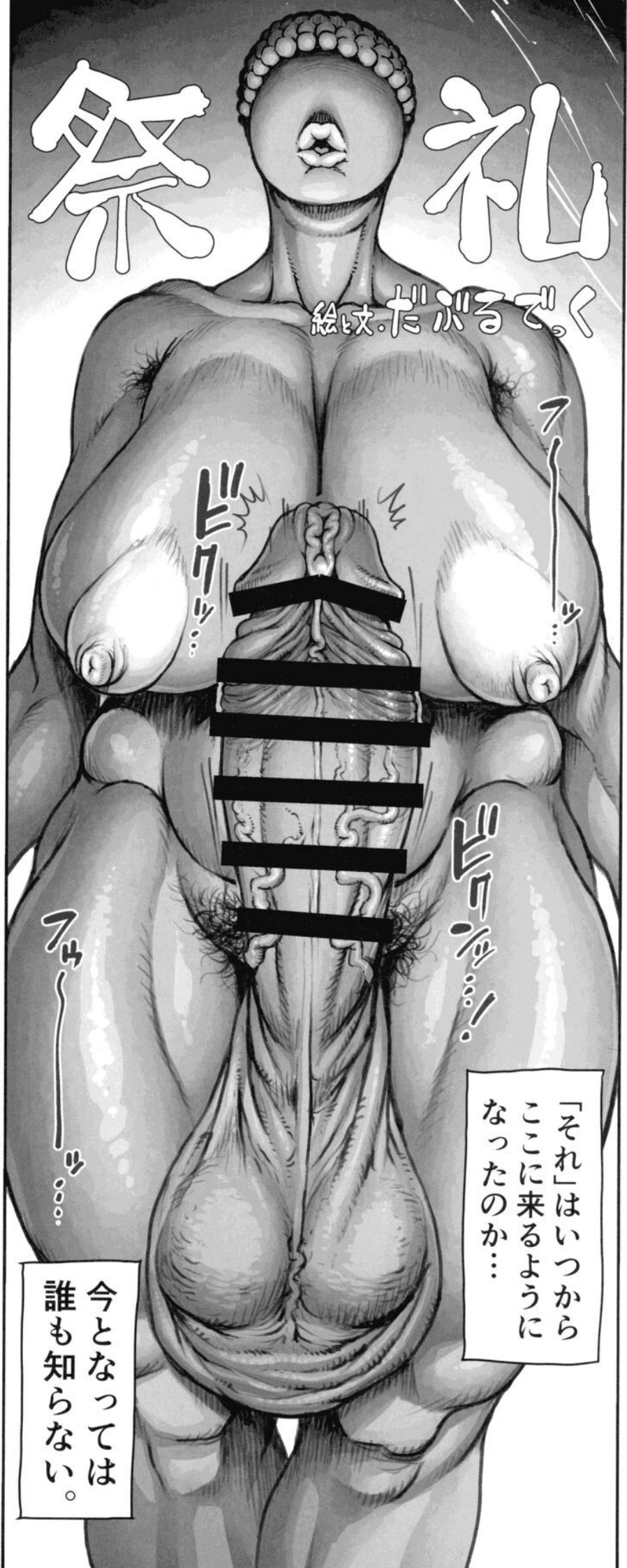


「それ」は  
いつからか  
「神サマ」と  
呼ばれる  
ようになり



そして僕達は、  
お祭りの儀式として…

「神サマ」と交わる  
ようになった。



# 祭礼

絵と文がわかるでく

「それ」はいつから  
ここに来るようにな  
ったのか…

今となつては  
誰も知らない。



「神サマ」との  
交わりは想像を  
絶する快樂で：



僕たちは  
もはや：

「神サマ」の  
母なる肉体  
の虜だ。

「神サマ」の  
不思議な力で  
いくら射精しても  
勃起は収まらず…



あへっ

僕はひたすら  
肉と粘膜の海に  
溺れる…

あへっ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

あへっ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

クッ  
グッ  
ハッ

元の暮らしに  
戻る事になる  
夜明けが来るまで...

4ツ...

んっ...

チュル...

チュホ...

んうッ...

チュル...

ム  
チュ...

ム  
キ...

コ  
ユ...

ム  
ツ...

タ  
ツ...

ム  
ツ...

ム  
ツ...

ム  
ツ...

ム  
ツ...

ム  
ツ...

ム  
ツ...

僕と「神サマ」の  
お祭りは果てしなく  
つづく...

おネリ

~クソデカチンポ澤梓VSマラコヴィアの民~  
(なんか既視感?)

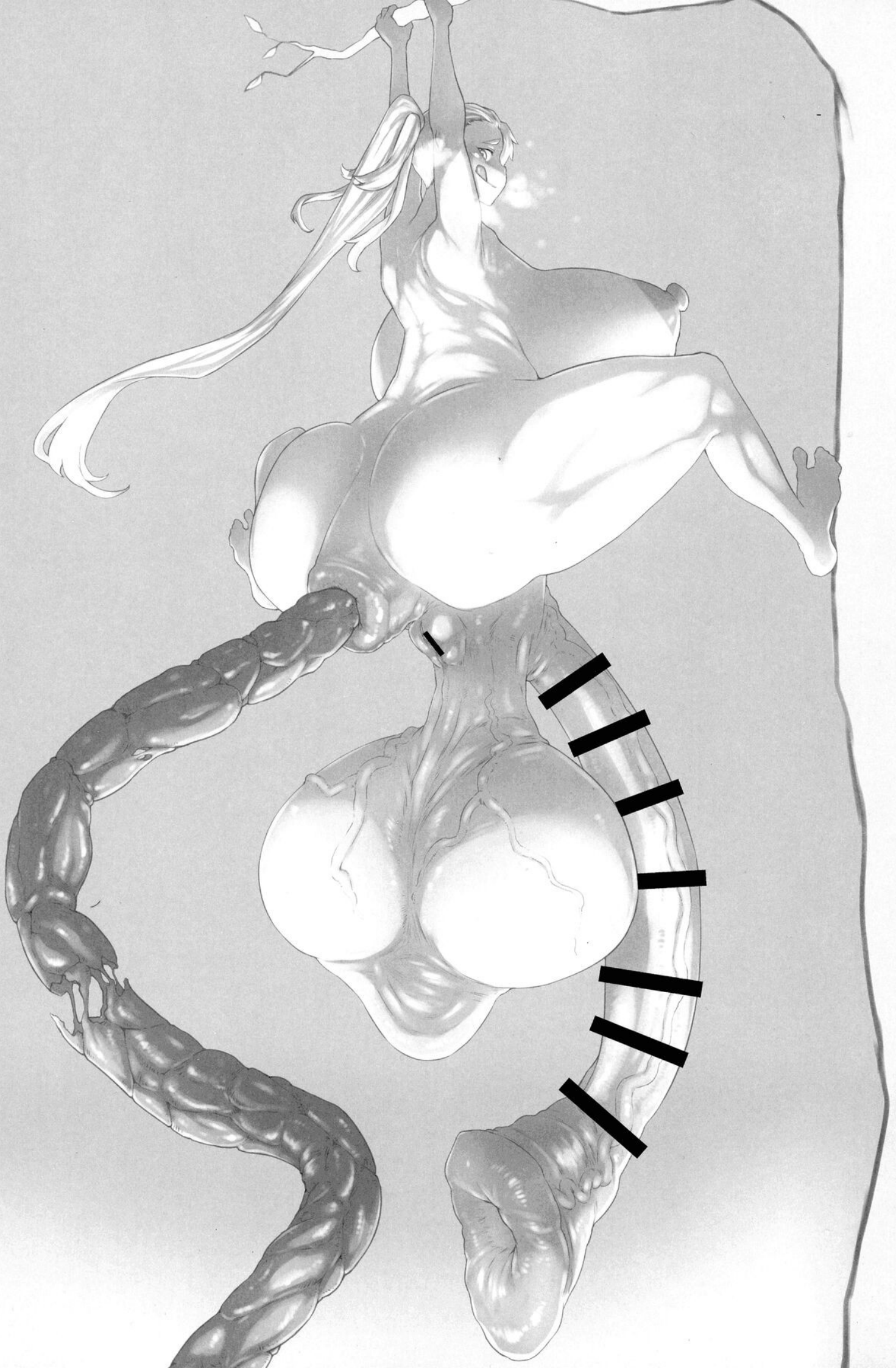


えっ、  
ちよっ…なんで裸…!?

ぎゃあ!

違うんです!!おちんちんが勝手に…  
ごめんなさいごめんなさい!!





身ぶり手ぶりで  
ウンコ相撲を説明する  
百合夫ワン

キモチいん  
ごっつあいん♡

作・破壊大帝

ウンコ...

あく...

あく



うへー  
ユリオの手つき  
やらしー!

コナコナの  
キャンディアナルも  
いつ見てもプリプリで  
かわいいでっ♡

ほるん

おっ  
出てきた!  
出てきた!



お..  
おねがい  
しまひゅ

モコのうんこ早速  
顔出してまつ!

準備万端  
であつねー♡

うう...こんなの  
なんてことないのに

改めて考えると  
めちやくちや  
恥ずかしい...

ポルポル



それじゃあ  
早速：  
えいっ



なにこれ  
やばいっ♡  
モコのウンチ

ズボズボして  
キモチいい♡

んんっ♡

そんなにイキむん  
じゃねえっ!  
ぐぎっ♡

ウンコ  
とびでるっ♡



にゃあにゃあ!!

むりむり!!

あ♡

あ♡

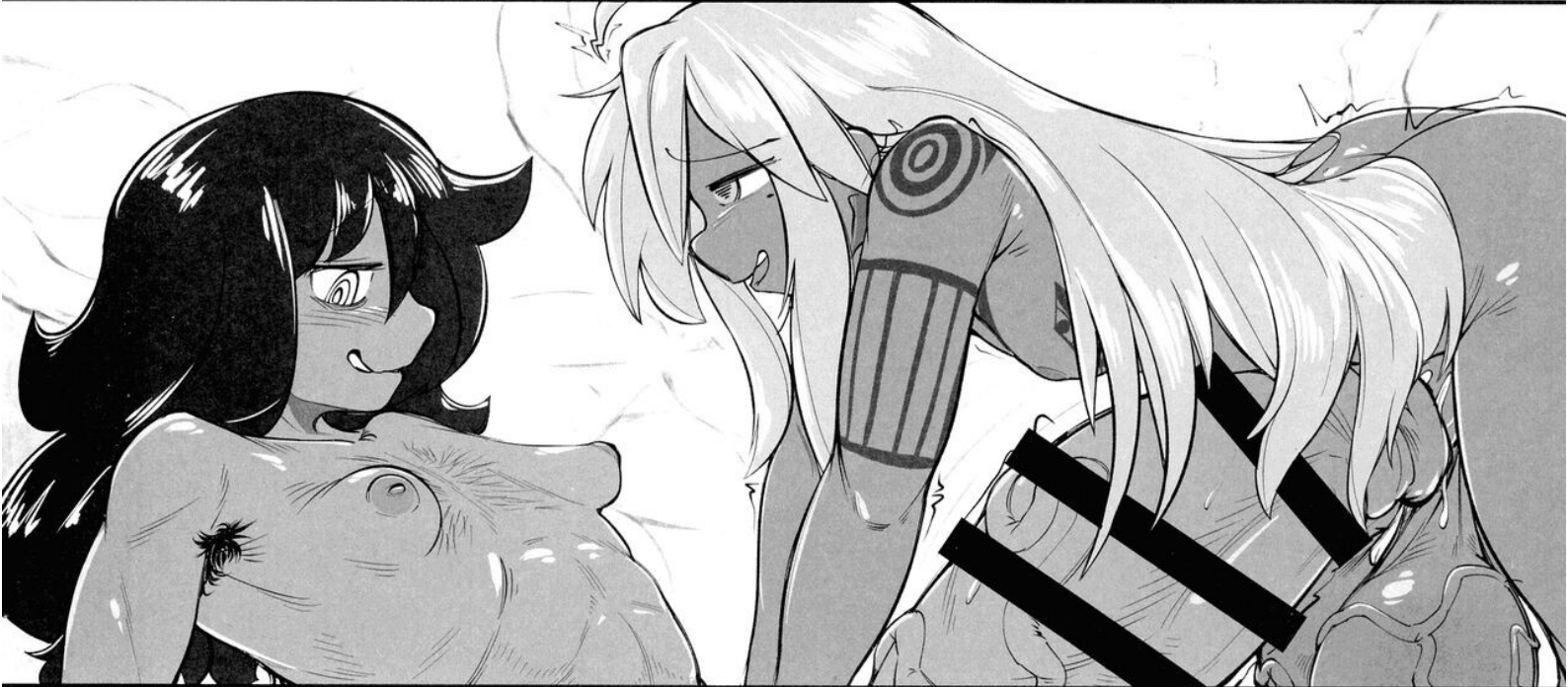
ふっ♡  
っ♡

# マラコヴィアの慣習 ・ 絆の宴 ・

作：BC  
(BurningCore)

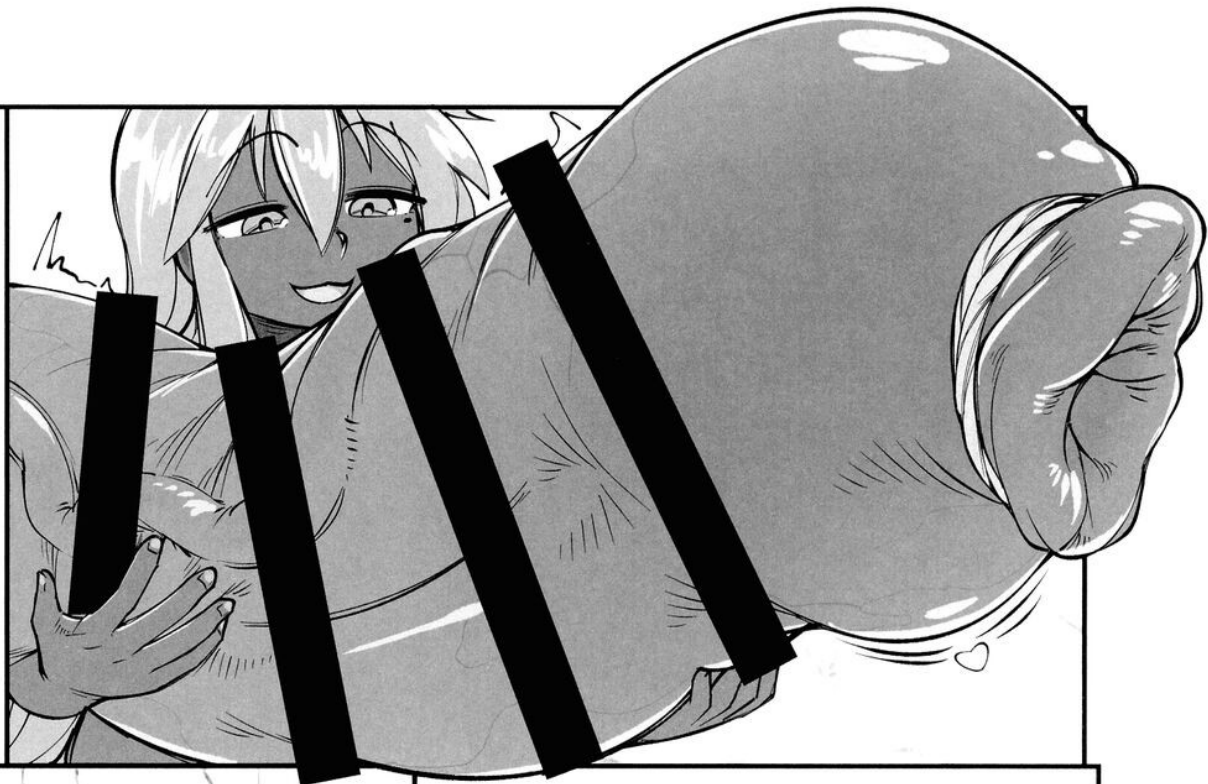


この儀式は通常、新しい家族や村の設立を記念して行われる。メンバーが新しい絆にもたらすものの象徴として、メンバー全員と参加を希望する友人や親戚は自分のペニスにハーブとオイルを混ぜたものを手で塗って、一番大きなメンバーのペニスに挿入する。



最終結果が混ざりすぎないように、参加者は自分の寄与度を大きいメンバーから順に小さいメンバーへと足していく。ペニスのない人は他人のペニスに油を塗ったり、自分で作った風味豊かなハーブペーストをゴージャブパイプで足したりする。

セッティングに2日かけると、儀式はほぼ完了する。待つことで料理が均一な粘度になり、また調味料が精液に完全に浸透する。また熟成させることで塩味が濃厚になり、マラコヴィア群島で知られる多くの自生フルーツと好対照をなす。



共同体の儀式なので精液を放出するのは共同体全員の責任です。濃くなったものを動かすのは難しいので、シャフトを動かす手助けは一般的に喜ばれる。マラコヴィア全土にこの儀式の地域的な違いがあり、その多くは新しいグループの他のメンバーが最終結果に貢献する方法を見つける。



マラコヴィア人物名鑑

■ショーコ

集落から外れた森に住む呪い師  
キノコを原料とした薬を作ることに長けており  
幻覚剤から虫下しまで多くの薬を作れる  
人見知りだが同年代のサチコ、コウメとは仲が良い  
ペニスは非勃起状態でも1mに迫る  
かなりの巨大さで  
その尿道を用いてコウメやサチコと  
精力的に交尾をしているようだ



マラコヴィア人物名鑑

■コウメ

マラコヴィアでは身体的に特異な特徴を持って生まれた者は巫女として育てられるコウメも二本のペニスを持つ特異体質である



見えないものが見えるというコウメはセックスをすることで霊と交信しその言葉は祖霊信仰のマラコヴィアでは強い力を持つ

呪い師のショーコと仲がよく祈祷に使う薬草などを融通してもらっているようだもちろん肉体関係もある

## マラコヴィア人物名鑑

### ■アリス

数年前まで集落に滞在していた  
アジア人の探検家の男と  
村の女の間生まれた少女  
名付けも父によるものだという  
まじめな性格で年下の子供の  
子守をしている

年齢にしては尻が大きく  
肛門も十分に発達しているため  
年下の子供たちへのおやつとして  
糞をひり出していることが多い  
より美味しくなるように  
マデラ他食事の内容には  
気を使っている

マラコヴィア人と異人種の  
ハーフは非常に珍しく  
また片言ながら  
父親の母国語と英語の  
会話もできるため  
ときには外国人の  
ガイドをすることもある



いつか父の国を訪れるのが  
夢だという

■カオル

元気いっぱい脱糞  
している姿をよく見る  
愛らしいふたなりの少女  
アリスの友人  
年下の子供らの精通を  
サポートしており  
特に自分の糞を使った  
愛撫には大人も  
唸るほどだという

ペニスも幼くして  
かなりの巨大さであり  
将来性も高く期待されている



マデラの果実の質を  
見定めるのが上手く  
糞にこだわりのあるノノから  
よく収穫と選別を頼まれている

## マラコヴィア人物名鑑

### ■ノノ

気弱で引っ込み思案な少女  
毛深い体質にコンプレックス  
を感じている  
しかし強烈な多糞体質で  
起きている時間の  
4分の1くらいは  
脱糞をしている  
また自分の糞に対して  
偏執的にも思えるほどの  
愛着を持っているようで  
マラコヴィア人では珍しく  
他人に与えることは  
ほとんどない



しかしそれゆえか  
糞の質は非常に高く  
ショーコが希少の薬や  
自分の尿道での性処理と交換で仕入れている

マラコヴィア人物名鑑

■カナコ

ふくよかな肉体の少女  
ノノと並び大量で  
美味な糞を排泄するが  
ノノとは違い社会的で  
快く皆に分け与えるので  
周囲からの人望が厚い  
また料理も得意であり  
食材や調味料の知識も深い  
基本的に原始的でシンプルな  
調理法が主なマラコヴィアに  
於いて高度な料理の  
概念を持つカナコは  
貴重な存在である



反面自分の糞を調理することは  
あまり好まず  
「お尻の中で調理済み」  
だそうだ

# あとがき

こんにちは、ラヂヲヘッドです。

今回の新刊は、これまでずっと構想を膨らませてきていた南国土人スカトロ島、マラコヴィア諸島の本になります。これまで小説やちょっとしたイラスト集は出していたんですが漫画をきちんと描いたことがありませんでしたので、ついに出せた念願の一冊です。これまでなかなか漫画を出せなかった理由として、このマラコヴィアという特殊な舞台を漫画で説明するにはかなりのボリュームになることが明らかであったため、相応の準備や制作期間が必要になったということがありました。そのため製作開始から完成までには結構な時間がかかってしまいましたが、南国の島の光景やマラコヴィアの文化習俗などに関しては、その入口のところまでは出来得る限りに描き切れたのではないかと考えております。

今回もまた、本文の塗りの支援に破壊大帝さんのお手を借りております。塗りの99%は破壊大帝さんによるものですので、この本のクオリティもその多くは破壊大帝さんのおかげでここまで保てたものとなっております。どうも有難うございました。

後段のラヂヲヘッドのイラストは昨年末にごく少部数発行した当誌の準備号に掲載されたものです。もし続編を描けることがありましたら、本編ラストに登場したコウメとショーコに加えてもう何人か出して主人公やモコと絡ませられたらと思います。

お忙しい中すばらしい原稿をご寄稿いただいたゲストの皆様、この尖ったテーマでお描きいただけるのは感激の至りです。本当にありがとうございました。

読者の皆様も楽しんでいただけましたら大変幸いです。

2023.8.7  
ラヂヲヘッド

## CONTENTS(敬称略)

- 03 ラヂヲヘッド
- 33 だぶるでっく
- 37 死にそーなコオロギ
- 38 わるものとみい
- 40 破壊大帝
- 42 BurningCore
- 44 ラヂヲヘッド

奥付

発行日 : 2023.8.13  
コミックマーケット102

発行者 : 革命政府広報室  
連絡先 : radioheadparano@gmail.com  
X : [https://twitter.com/Radio\\_paranoia](https://twitter.com/Radio_paranoia)  
Booth : <https://radiohead.booth.pm/>  
FANBOX : <https://radiohead.fanbox.cc/>  
印刷所 : 上野印刷所